

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人ぶさん会

目 次

- I. 法人本部 事業報告 ----- 1 ページ
- II. 指定障害福祉サービス事業所
柿の木苑 事業報告 ----- 6 ページ
- III. 相談支援センター柿の木苑
事業報告 ----- 30 ページ
- IV. 指定就労継続支援B型事業所
ワーク柿の木苑 事業報告 --- 34 ページ
- V. 地域生活支援センター柿の木苑
(介護サービス包括型指定共同生活援助)
事業報告 ----- 41 ページ
- VI. 委員会活動 事業報告 ----- 49 ページ

I. 令和5年度 社会福祉法人ぶさん会

法人本部 事業報告

1. 法人理念

「ぶさん会」は
利用者様のために
地域のために
未来のために
お役に立つ法人であり続けます。

2. 基本方針

- ① 利用者様が地域で安全安心に暮らせるように、自立支援に務めます
- ② 利用者様を中心に、事業所は創意工夫に努め、生きがいとなる福祉サービスをご提供できるよう務めます。
- ③ 求められている新しい福祉サービスをご提供できるよう創造し続けます。
- ④ 利用者様を中心に、事業所、ご家族様、地域住民が連携できるよう、協力と助け合いに務めます。
- ⑤ 利用者様、ご家族様、地域住民の未来のために、事業所は常に研鑽に務め、次世代を担う人材の育成に取り組み、公正で誠実な人材を育てていく事を目標とします。

3. 倫理綱領

利用者様が、人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるように支援をしていきます。私たちは支援者の一人として、確固たる倫理観を持って、その専門的役割を自覚し自らの使命を果たします。

1). 生命の尊厳

私たちは、利用者様一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

2). 個人の尊厳

私たちは、利用者様の、一人の人間としての、個性、主体性、可能性を尊びます。

3). 人権の擁護

私たちは、利用者様に対するいかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

4). 社会への参加

私たちは、利用者様が、年齢、障害の状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活を送れるように支援します。

5). 専門的な支援

私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、障害のある人たちの一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生を送れるように支援し続けます。

4. 経営事業

(1) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業の経営

(ロ) 特定相談支援事業の経営

(ハ) 障害児相談支援事業の経営

(ニ) 障害児通所支援事業の経営

(2) 公益事業

日中一時支援の事業

5. 令和5年度の取り組み

(1) 経営の安定化

物価高騰による支出増、感染症の影響による欠席が多く、稼働率低迷で今年度も赤字となりました。利用者様増についても、目標まで達成できていませんでした。財務状況改善が喫緊の課題です。令和6年度は報酬改定の年です。基本報酬や体制加算感染症対策を継続しつつ、新規利用者様も増やし、稼働率を改善させていきます。

(2) 人材確保と人材育成

求人に対し、ワーク柿の木苑1名、グループホーム1名補充できましたが、法人全体で人手不足です。部門ごとに相談しながら、求人を継続します。

人材育成はチームリーダーが育ちつつあります。キャリアパスに則り研修の参加を促し、また責任ある仕事を任せました。管理者はフォロー・バックアップに徹し、安心して仕事ができるようにしていきます。

チーム力向上、生産性の向上、サービスの質の向上につながりますので、マネジメント力のあるリーダー育成を継続します。

(3) 賃上げの実施

定期昇給を実施し、職員の処遇改善を継続しました。ベースアップについてはコンサルタントに相談し、令和6年度より加給を利用して実施することとしました。賃金テーブルの改定は、今後も賃上げが継続されることが予想されるので、時期を待つこととしました。令和6年度は、物価高から職員の生活を守れるように、ベースアップ・定期昇給を実施します。

(4) B C P (災害) の策定

自然災害発生時における事業継続計画(地震、風水害)を策定しました。B C Pについて法人内で研修を行いました。防災備品の棚卸もできました。今後は防災委員会で定期的な内容の確認、研修、訓練を行っていきます。

B C P (感染症)については、感染症予防委員会で内容の振り返りと啓蒙活動を担当します。

(5) 組織力の向上

前述のとおり、チームリーダーの育成に力を入れておりますので、チームワークも向上しています。柿の木苑は全体的に組織力が向上してきていますので、今後業績に対し、いい影響になると確信しています。ワーク柿の木苑、地域生活支援センター柿の木苑は新しいリーダーのもと組織づくり中です。報連相を徹底し、小さな困ったことも取りこぼさないようにし、新しいリーダーが自信をもち、メンバーが安心して働ける職場づくりをしていきます。

(6) ハラスメント防止対策

令和4年4月1日より中小企業主はパワーハラスメント防止措置が義務化されました。顧問の社会保険労務士に講師を依頼し、法人内で研修を行いました。

(7) 定員変更

柿の木苑の定員変更を行いました。平成30年の定員に戻しました。

就労継続支援 B 型 24名→26名

生活介護

16名→14名

(8) 八戸市社会福祉施設功労者表彰

勤続19年の相談支援専門員が八戸市より表彰されました。

6. 資金について

(1) 令和5年3月の計画に基づき、令和6年3月に補正予算を行いました。

(2) 資金は前期繰越金及び経理区分間繰入金収入、運用収入で賄いました。

7. 役員の定員

理事 6名

監事 2名

評議員 7名

8. 法人理事会及び評議員会の開催

第1回理事会 令和5年 5月23日(火) 12:30～

第2回理事会 令和6年 1月23日(火) 12:30～

第3回理事会 令和6年 3月26日(水) 12:30～

ZOOMを利用して、オンライン参加を可能としています。

定時評議員会 令和5年 6月7日(水) 10:30～

9. 補助金について

#	補助金	交付拠点	金額
1	送迎車用安全装置導入支援事業補助金	柿の木苑(放課後等デイサービス)	533,720円

10. 家族との懇談会

感染症防止のため、開催を中止しました。

11. 職員配置

令和4年3月現在

事業所	勤務形態	施設長・管理者	事務員	サービス管理責任者	児童発達支援管理責任者	嘱託医	看護職員	作業療法士	機能訓練指導員	職業指導員	目標工賃達成指導員	相談専門支援員	生活支援員	児童指導員	保育士	栄養士	調理員	世話人	合計
本部	常勤	(1)	(2)																(3)
柿の木苑	常勤	1	2	1	1		1			1	1		4	1	1	1	1		16
	非常勤					1	1	1	1	(2)			1	1			2		8
相談支援センター	常勤	(1)										1 (2)							1
	非常勤																		0
グループホーム	常勤	(1)		1									3 (1)					(1)	4
	非常勤																	2	2
ワーク柿の木苑	常勤	1		1						1	1		(1)						4
	非常勤					(1)													(1)
合計	常勤	2 (1)	2	3	1		1			2	2	1	7	1	1	1	1		25
	非常勤					1	1	1	1				1	1			2	2	10

* () 内の人数は兼務の職員の数

Ⅱ. 令和5年度 指定障害福祉サービス事業所

柿の木苑 事業報告

Ⅱ－1. 柿の木苑全般

1. 運営について

利用者様、職員ともに大きな事故なく過ごすことが出来ました。

定員変更を9月に行いました。就労継続支援B型は24人から26人に増員、生活介護は16人から14人に減員としました。もともとの定員に戻しました。授産施設としてスタートした柿の木苑ですので、就労継続支援B型が柿の木苑の根幹となります。

稼働率の低迷による収入減と物価高騰による支出増で今年度も残念ながら、赤字となってしまいました。物価高騰は、光熱費、食材費、衛生費に影響しております。いよいよ給食費の実費負担についても値上げを検討せざる負えなくなっています。感染症による欠席者が多い1年で、稼働率は上がりませんでした。新型コロナウイルス感染症が5類となりましたが、第10波の到来でご本人、ご家族が感染されたり、インフルエンザや緑膿菌などの感染症にり患される方もありました。

令和6年度の経営改善のために、報酬改定と体制加算の見直しで、1名当たりの報酬単価増を検討しています。さらに土曜日のご利用者が増えるよう魅力的なプログラムも検討しています。

2. 令和5年度の重点目標

- ① 人材の補充、定着
- ② 利用者様稼働率アップ
- ③ ハラスメント対策
- ④ 業務継続計画＝BCP（感染症）のブラッシュアップ
- ⑤ BCP（災害）の策定
- ⑥ 老朽化に伴う建物、設備、機器の整備保守

3. 各目標における反省と成果

① 人材の補充、定着

ハローワークの求人に応募者はありましたが、採用に結びつきませんでした。人手不足感は続いていますが、現在在職している職員は、定着しています。働き甲斐があり、安心して働ける環境づくりを継続していきます。

② 利用者様稼働率アップ

全体的に欠席者が多く、1年を通して稼働率は低かったです。よかったことは、マスク、手洗い、消毒、換気など感染症対策を継続しておりましたので、施設内で感染が広がることはありませんでした。

③ ハラスメント対策

法令順守、ハラスメント防止の研修を継続し、啓蒙に努めました。
パワハラ、セクハラに関するトラブルはありませんでした。

④ 業務継続計画＝BCP（感染症）のブラッシュアップ

クラスターは発生せず、休業することはありませんでした。
BCPの見直しは管理者で行い、研修を通して、法人職員に周知しました。

⑤ BCP（災害）の策定

管理者間で協力して、BCP（災害）を策定しました。防災備蓄の在庫を整理できました。BCPとともに在庫の見直しを毎年行っていきます。

⑥ 老朽化に伴う建物、設備、機器の整備保守

2棟給湯ボイラー、エレベーターワイヤーが老朽化のために交換しました。令和4年度の八戸市建物定期報告の是正項目のうち3か所の対策を実施しました。

放課後等デイサービスでは児童送迎車の置き去り事故防止センサーが義務化され、4台の送迎車にセンサーを取り付けました。

4. 年間稼働率

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計	1日平均 利用者数
事業名	営業日数	21	22	22	22	22	22	23	22	23	22	21	23	265	
放課後 等デイ サービ ス	登録者数	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	5.14 人
	授業後	88	105	105	76	34	109	108	96	84	72	90	87	1,054	
	休日	23	9	0	44	98	4	5	3	33	48	3	39	309	
	延べ利用者数	111	114	105	120	132	113	113	99	117	120	93	126	1,363	
	延べ定員	210	220	220	220	220	220	220	230	220	230	220	210	230	

定員 10名	稼働率	52. 9%	51. 8%	47. 7%	54. 5%	60. 0%	51. 4%	49. 1%	45. 0%	50. 9%	54. 5%	44. 3%	54. 8%	51.4 %	目標 55%
	登録者数	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23		
就労継 続支援 B型 定員 24名	延べ利用者数	375	388	416	405	352	373	390	374	380	353	317	369	4,492	16.95 人 目標 80%
	延べ定員	546	572	572	572	572	572	598	572	598	572	546	598	6,890	
生活 介護 定員 16名	登録者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	11.7 4 人
	延べ利用者数	251	269	260	261	244	258	268	267	277	251	241	265	3,112	
	延べ定員	294	308	308	308	308	308	322	308	322	308	294	322	3,710	目標 90%
	稼働率	85. 4%	87. 3%	84. 4%	84. 7%	79. 2%	83. 8%	83. 2%	86. 7%	86. 0%	81. 5%	82. 0%	82. 3%	83.9 %	

5. 月別入退所

(単位：人)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
放課後等 デイ	入	4												4
	退	1											1	2
就労B型	入													0
	退		1								1			2
生活介護	入													0
	退	1											1	2
合計	入所	4												4
	退所	2	1								1		1	5

6. 退所理由

①放課後等デイサービス

退所理由	人数
学習塾に通うため	1
施設入所のため	1

② 就労継続支援B型

退所理由	人数
高齢のため	1
家庭の都合	1

③ 生活介護

退所理由	人数
事業所変更（他法人）	1
入院	1

7. 居住地別利用者数 R5年3月31日現在 (単位：人)

居住地	八戸市	階上町	五戸町	おいらせ町	南部町	三戸町	合計
放課後等デイ	14						14
就労継続	21			1			22
生活介護	14	2		1	1		18
合計	49	2	0	2	1		54

8. 福祉サービスの評価と改善

① 就労継続支援B型・生活介護 第三者委員面談

令和5年4月25日、5月12日、6月15日、7月12日、8月7日、9月7日、10月3日、11月8日、12月21日、令和6年1月25日、2月29日、3月28日 毎月1回実施

面接人員 48名（就労継続支援B型、生活介護）

面接者：八ネット福祉オンブズマン

② 第三者委員の所感

・8月7日にいろいろ不満を申し出た方が1名おりましたが、作業は自信

がないと言いながらも頑張っている様子を職員の方から聞きました。

- ・買い物外出、調理実習や季節のイベントの事を楽しそうにお話ししてくれる利用者さんが多かったように思います。
- ・運動プログラムに一度参加させていただきました。非常に良い取り組みだと思います。
- ・作業内容、スタッフへの不満は、ほとんどありませんでした。

給食への期待、満足度が高く、「根城カフェ」を何度か利用させていただきました。とても美味しく、そのうえヘルシーで値段も安く驚きでした。

- ・昨年 12 月送迎車の自損事故があり、幸い物損だけで済んだようですが、くれぐれも再発防止に努めていただきたいと思います。

③ 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

改善内容 又は改善 目標	チェック項目	はい	いいえ	工夫している 点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・整備体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動ごとに場所を区切っている。	個別課題エリアでは、一人一人の集中力に合わせたパーテーションを使用し、環境寮生を行っている。注意散漫になりやすい児童に対しては、個別エリアを設けている。
	2	職員の配置数は適切である	○			送迎時間が重なった場合は、他部門と連携し対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープ、多目的トイレを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、職員間でのミーティングを行っている。	今後も継続して行い、情報共有、問題の早期解決、対応方法の統一に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表に加え、自由記入欄を設け、記入して頂いている。	保護者より活動の参観をしたいとの要望があり、今後の状況を見て実施に向けて検討している。

	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			自己評価によって課題を見出し、事業計画に反映している。また、理事会で報告している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回の事業所内での研修やサポートカレッジを活用している。	"サポートカレッジの動画は月1回以上視聴する時間を設け、職員一人一人の知識、技術の向上を図っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		評価表にて精神状態、運動機能、日常生活動作、生活関連活動、対人技能、社会適応技能、作業能力について更に細かい項目に分けてアセスメントを行っている。	今後も丁寧にアセスメントを行い、個別支援計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		気付きのチェックリスト、遠城寺式評価表も活用している。	今後も活用して、細かく丁寧にアセスメントを行い、都度見直しを行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングの際タイムスケジュールを作成し、支援を行っている。	今後も継続して一人一人に合わせたスケジュールを組み立てていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		タイムスケジュールをファイレリングし、活動の見直しを行っている。	今後も継続し、目標に沿って常に新しい活動を取り入れていく。

13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		苑内でのレクリエーション、集団活動、個別活動等行っている。	新型コロナウイルス感染症予防対策の為、長期休暇中の外出等少なかった為、苑内でのレクリエーション、集団活動、個別活動に力を入れた。平日は、自分で選んで活動できる「選択活動」のスケジュールを設けるようにしていた。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用人数が多い日、下校時間が早い日、長期休暇中は集団活動を取り入れている。	集団活動では楽しみながらコミュニケーションを学習する場として、児童同士、職員とのやり取りを大切にしている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎回、個別のタイムスケジュールを作成し確認している。	スケジュール、送迎担当、下校時間の確認、前日の様子についての申し送り、注意して見守る点等確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回ミーティングを行い、状況に応じて支援内容の見直し、対応方法の確認、保護者から伺った情報などの共有を行っている。	今後も継続して情報共有を行い、統一した支援を行う。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記入漏れの無いよう、メモを残し、記録している。	今後も計測し、対応、支援の検証を行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		ケース会議で見直しを行っている。	今後も継続し、一人一人の能力や達成度等も考慮しながらより細かく見直ししていく。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		同じ組み合わせにならないよう考慮している。	今後も振り返りを行い、新しい活動も取り入れていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、主任が行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時の情報共有、電話での確認、必要に応じて学校主催の情報交換会に参加している。	今後も密に連絡を取り、情報共有に努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		看護師が主体となっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		電話での情報共有、支援、対応についてのアドバイスを頂いている。	今後も密に連絡を取り、情報共有に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行支援会議には必ず参加し、情報の提供、共有を行っている。法人内での移行する場合も多く、卒業後の本人へのアフターフォロー、職員との支援についての検討にも力を入れている。	本人の能力や性格、現在の課題などを事前にまとめ、確実に情報提供が行えるように努めている。

	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		本人、家族へのアプローチ方法などアドバイスを頂いている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルス感染症予防対策の為、今年度は実施していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		法人としては、相談支援、就労分野での参加はあるが、児童での参加はない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳で情報共有している。	今後も密に連絡を取り、必要に応じて個別で電話での対応、面談を行い、家庭・学校・事業所での対応に大きな差が無いよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		家庭での対応について等、助言を行っている。	一人一人の不安に寄り添い、丁寧に助言、助言後のフォローだけでなく、次の目標設定等も家族の意向を十分に取り入れる為、面談を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明し、質問があれば都度説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談しやすい関係を築けるよう努めている。	家庭での対応や家族が感じる不安等についての相談にも丁寧に応じるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		家族との懇談会は、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、今年度は実施していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場	○		苦情の窓口等、契約時に説明したり、事業所内廊下に掲示	今年度、苦情等はなかった。今後苦情があった場合にはマニュアルに沿って、迅速・適切に対応していく。

		合に迅速かつ適切に対応している			している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の会報発行、行事等の写真を連絡帳に貼ってお伝えしている。	家族から「活動中の参観をしてみたい」との要望があった。今後の状況に応じて検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		研修等で職員に周知徹底している。	今後も個人情報の取扱いに十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて、連絡帳、口頭での二重の説明、確認を行っている。児童に対しては、説明後に十分理解できているか、納得できているかを確認している。	今後もより、分かりやすい説明を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		例年は年1回の「柿の木苑まつり」を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、開催していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員へ周知徹底している。	家族へは年度初めの家族との懇談会でマニュアル説明を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、開催していない。今後の状況に合わせて、説明方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難・救助訓練を行っている。	児童が利用している時間帯での実施が少ない為、長期休暇中等担当者で開催時期の検討を行う。

40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会を設置し、研修を行っている。また、年1回のセルフチェックリストを実施し、自他の振り返りを行っている。	今後も事業所内での研修や、サポートカレッジの動画視聴行い、虐待防止を徹底していく。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		危険防止の為の制止等、状況、必要性時間帯を個別支援計画に記載し、説明し同意を得ている。	定期的に必要性について委員会やモニタリングの際に検討していく。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーのある方へは説明し、医師から除去食等の指示書を頂くようにしている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			委員会を設置し、事業所内の研修で事例検討を行っている。	今後も事例検討を行い、再発防止に努めていく。

9. 職員体制

施設長 1 名、サービス管理責任者 1 名、児童発達管理責任者 1 名、
 生活支援員 5 名（2 名非常勤）、
 職業指導員 1 名、目標工賃達成指導員 1 名
 看護職員 2 名（1 名非常勤）、機能訓練指導員 1 名（委託）、
 児童指導員 2 名（1 名非常勤）、保育士 1 名、嘱託医 1 名
 栄養士 1 名、調理員 3 名（2 名非常勤）

10. 勤務体制

・正職員

月曜日～土曜日 シフトによる勤務 祝日はお休み
8時30分～17時30分（休憩1時間）

・準職員は契約による。

11. 人事異動

・退職 パート 1名（期間満了）

12. 職員研修

日程	研修名	研修内容	主催	参加者
7月5日	令和5年度安全運転管理者講習	青森県安全運転管理者協会	八戸市水産会館	安全運転管理責任者
8月10・23・25・26日	令和5年度障がい者就労サポーター養成講座	障がい者の就労支援の流れと支援の視点 学習障害と就労	八戸市社会福祉協議会	就労生活支援員
8月1・7・10日	令和5年度就業支援基礎研修		青森障害者職業センター	目標工賃達成指導員
8月1日～14日の間	令和5年度相談支援従事者初任者研修	講義部分	青森県青森県社会福祉協議会	生活支援員
8月1日～14日、9月21・22日、10月20日、11月21・22日	令和5年度相談支援従事者初任者研修		青森県青森県社会福祉協議会	相談支援専門員
10月5・6日	令和5年度強度行動障害支援者養成研修	基礎研修	青森県社会福祉協議会	生活支援員
10月2日～16日、11月25日	令和5年度サービス管理責任者等研修	基礎研修	青森県社会福祉協議会	生活支援員

10月30日	令和6年度感染症予防対策研修会	社会福祉施設における感染症予防対策	八戸地区社会福祉施設連絡協議会	感染症予防委員
11月27日	令和5年度法人運営セミナー	もう悩まない!イライラしない!部下も後輩も自分も活きるコーチング講座	青森県社会福祉協議会	サービス管理責任者
1月16日	令和5年度全国経営協都道府県セミナー(後期)	報酬改訂等について	青森県社会福祉福祉法人経営者協議会	管理者
1月20日	令和5年度サービス管理責任者等研修	更新研修	青森県社会福祉協議会	児童発達支援管理責任者
1月20日	令和5年度八戸圏域連携中枢都市圏連携事業 障がい者福祉合同講演会	「わかりやすい情報」であふれる社会に	八戸市社会福祉協議会	サービス管理責任者
2月19日	令和5年度障害福祉事業経営セミナー	令和6年度障害福祉サービス等報酬改定と全国経営協の取組	全国社会福祉法人経営者協議会	管理者
2月27・28日	令和5年度強度行動障害支援者養成研修	実践研修	青森県社会福祉協議会	生活支援員
3月7日	普通救命講習 I	応急手当・救命手当・AEDを用いた応急手当	八戸地域防災協会八戸部会	生活支援員

1.3. 実習・研修受け入れ

- ・青森県立高等支援学校 普通科2年 5月22日～26日 1名(就労)
- ・青森県立高等支援学校 普通科3年 6月5日～15日 1名(就労)
- ・青森県立八戸第一養護学校 中学部3年 6月20日 1名(介護)
- ・青森県立八戸第一養護学校 中学部2年 11月16日 1名(介護)
- ・青森県立高等支援学校 普通科2年 11月27日～11月1日 1名(介護)

1.4. 地域交流

- ・根城町内会総会 4月16日、班長会議 4月28日 3月4日
- ・江南小学校入学式 4月8日・運動会 5月20日・卒業式 3月19日

- ・青森県立八戸第一養護学校 卒業式 3月15日
- ・根城地区新年あいさつ会 1月7日 根城地区運動会 9月10日
- ・根城史跡まつり実行委員会 総会7月3日 報告会12月6日
- ・長坂公園の清掃ボランティア 3回実施（就労）
- ・ごみ捨てボランティア 毎週水曜日

15. 健康管理

- ・新型コロナウイルスが5類となっても、手洗い・うがい・マスク・消毒・換気等、感染症対策は継続した。
- ・利用者胸部X線撮影 5月8日
- ・利用者健康診断（嘱託医） 7月11日 12月14日 2回実施
- ・利用者歯科検診（嘱託医） 9月5日
- ・インフルエンザ予防接種（実費）11月7日
- ・職員健康診断（健診センター）10月 その他採用時検診実施

16. 安全管理

- ・総合防災訓練(地震) 年2回 令和5年11月9日、令和6年2月22日
- ・避難訓練実施(火災) 年3回 令和5年5月25日、8月24日、11月9日
- ・消防設備点検（外部委託業者） 柿の木苑・地域交流センター（2棟）
年2回 6月12日、12月5日
- ・消防自主点検 年4回 令和5年4月12日、7月24日、10月16日、令和6年1月9日
- ・電気月次点検（東北電気管理技術者協会）毎月1回
令和5年4月4日、5月11日、6月14日、7月6日、8月31日（重点点検）、9月13日、10月20日、11月14日、12月19日、
令和6年1月19日、2月20日、3月8日
*高圧負荷開閉器 製造後15年経過 交換が必要
- ・自動ドア点検（外部委託業者） 年2回4台 4月10日、10月30日
- ・ガス設備検査 4年1回 前は令和5年に検査
- ・エレベーター点検（外部委託業者） 毎月1回
令和5年4月6日、5月17日、6月20日、7月28日、8月17日、9月7日、10月5日、11月13日、12月7日、
令和6年1月9日、2月7日、3月7日
*主ロープ・調速機ロープ取替作業 7月28日
- ・昇降機定期検査報告(八戸市報告) 年1回 6月23日
- ・防犯 柿の木苑本体、地域交流センター（2棟） 民間警備会社契約
「防犯サービス」「火災監視サービス」「クラウド防犯カメラ」

17. 衛生管理

- ・ 厨房害虫ねずみ定期点検防除（外部委託業者） 年4回実施
4月14日、7月7日、10月18日、1月12日
- ・ グリーストラップ汲み取り（外部委託業者） 8月26日、2月28日
- ・ 所定の場所へ手指消毒剤の設置と利用の義務付け、カップの消毒等。
- ・ 浴室の消毒 外部委託は今年度はなし
- ・ 入浴設備等の細菌やかびの発生を予防するため換気、通風を行いました。2
台特殊浴槽のタンクの消毒は毎月職員で実施しています。
- ・ ワックス施工（外部業者）12月10日・24日

18. 給食

- ・ 給食会議 年2回実施 8月28日 令和6年3月25日
- ・ 給食嗜好調査 年2回実施 8月4日、令和6年3月6日
- ・ 保健所査察 令和5年度は実施なし
- ・ 特別食 ソフト食、刻み食、とろみ食、減塩食、後期食の対応をしています。
- ・ 定期点検 業務用冷蔵庫・業務用冷凍庫・テーブル型冷蔵庫 4月11日
真空包装機 5月24日、8月10日
製氷機 7月14日
消毒保管庫 8月10日、9月12日
業務用食器洗浄機 8月10日、9月12日
スチームコンベクションオーブン 8月9日

19. 建物、設備、機器の整備

○ 備品購入

- ・ 2棟給湯ボイラー交換 5月13日
- ・ 2棟男子更衣室・相談室 FFストーブ交換 11月17日

○ 修繕・クリーニング

- ・ 中庭スロープ補修工事 4月21日
- ・ プレハブ小屋塗装工事 6月10日
- ・ 駐車場側スロープ補修工事 6月15日
- ・ 八戸市建物定期調査報告 是正項目 5月18日～6月23日
職員玄関シーリング劣化、軒樋ワイヤー外れ、エアコン冷媒管破損
- ・ 厨房扉交換 5月28日
- ・ 消火器交換 6月19日
- ・ エレベーターワイヤー交換 7月28日
- ・ 太陽光熱給湯設備修理 8月1日
- ・ 2棟2F 女子更衣室 FFストーブ修理 10月31日

- ・ボイラー室 配管水漏れ修理 12月1日
- ・ワックス施工 1F 12月10日 2F 12月24日
- ・静養室 網戸修理 1月25日

○ 車両管理

- ・車検・6か月点検は都度実施
- ・車両管理責任者による点検 月1回実施
- ・タイヤ交換 4月、11月
- ・置き去り事故防止装置取付 4台 10月21日完了
- ・事故対応 送迎車自損事故 3件
 - 12月4日 4号車
 - 12月21日 8号車
 - 1月29日 4号車
 冬期の送迎について注意喚起を行った。

20. 全体行事・レクリエーション活動報告

10月23日 電車食堂車輸送安全祈願祭
 2月19日 えんぶり鑑賞（新組えんぶり組）
 各事業所の行事は事業所の報告に記載

21. 土曜日活動報告

月	日数	内容
4	1	クイズ大会
5	2	根城史跡広場で体を動かそう、ポッチャ
6	0	
7	2	DVD鑑賞、海沿いドライブ（蕪島）
8	3	風船バレー大会、クレイリング（樹脂粘土のゆびわ）づくり、DVD鑑賞
9	2	DVD鑑賞、秋の壁面工作
10	2	外遊び（根城史跡）ハロウィン制作
11	2	卓球大会、オリジナルシール作り
12	3	モルック、冬の壁画づくり、クリスマス工作
1	3	初売り買い物外出（イオン下田） 新春ババ抜き大会、DVD鑑賞
2	2	レクリエーション（鬼退治）、ひな祭り制作
3	3	ポッチャ大会、階上ドライブ、DVD鑑賞

*就労継続支援B型の利用者様は、作業かレクリエーションのどちらかを選んでいただいている

2.2. 機関紙発行

柿の木苑だより（生活介護利用者様作成）	5回発行
柿の木苑だより号外（就労利用者様作成）	1回発行

Ⅱ-2. 就労継続支援B型 事業報告

1. 支援実施状況

令和5年9月に利用者定員を24名から26名に変更しましたが、怪我による入院と高齢の為に他の施設へ移動された男性が1名、養護学生時代から不登校であった女性が1名、計2名退所されています。令和5年度末で22名の登録となっており定員に余裕がある状態が続いている為、利用者の確保が課題となっています。教育機関・相談事業所等とつながりを深めることやサービスの向上を目指します。

生産活動においては流行していた感染症も落ち着いた為、根城カフェの営業日数が昨年と格段に上がり売り上げも自粛前に戻りつつあります。また、新たな試みとしてSNSの活用や客席数の増加を行っています。商品も原材料の高騰に合わせて仕入れの見直しや価格の変更を来年度から予定しています。夏季・秋季は作物の販売も好調で無駄なく販売することができて、お客様や利用者の家族からも喜ばれていました。能登半島沖の震災や積雪による物流の心配も懸念されましたが大きな影響はなく、県外へ配送する納品もスムーズに行えています。報酬改定に伴い平均工賃の算出方法も変更され、一人当たりの工賃も3,000円以上多くなりました。

生活面の支援では自己決定や自立した生活が送れるように目標を定め、金銭的にも生活学習的にも成果が表れている利用者が増えました。個別支援の時間を設けることで集団の活動とメリハリをつけて取り組まれる姿が多くみられました。50歳以上の利用者に対しては高齢化や障害特性による体調の変化が大きく、身体的な介助や介護サービスの申請を行うなど安全且つ今後を見据えた支援が必要でした。休憩や移動などは以前より時間の調整が難しくなっている為、支援者の全体を見る能力も不可欠だと感じました。

全体を通して自粛期間が終了し、様々な活動が活発化している中で安全面や健康面に配慮することが多くみられた一年でした。災害や天候不順なども考慮しながら活動や作業の計画を行い、利用者の状態に応じた日々の支援に努めていきます。

2. 定員及び利用状況 定員 26名 登録者 22名

① 障害支援区分登録者 (単位：人)

区分2	区分3	区分4	区分5	合計
2	6	2	2	12

② 障害種別 (重複あり) (令和6年3月31日現在)

身体障害者手帳 (単位：人)

一種 一級	一種 二級	二種 一級	二種 二級	二種 三級	二種 四級	合計
4	3	0	0	0	0	7

療育手帳

(単位：人)

A	B	C	計
1	14	0	15

精神保健福祉手帳

(単位：人)

一級	二級	三級	計
0	2	0	2

③ 年齢別利用状況 (令和5年3月現在) (単位：人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	合計
男性	0	3	4	0	2	3	12
女性	0	3	2	2	3	0	10
合計	0	6	6	2	5	3	22

3. 生産活動の収支分析

(1) 令和5年度生産活動、工賃実績

平均月額工賃 13,479円 時給125円

月	売上	経費	粗利益	支払工賃	延べ 人数	営業 日数	平均工賃
4	240,430	35,250	205,180	211,315	375	21	11,834
5	242,200	288,815	-46,615	227,420	381	22	13,132
6	810,789	560,165	250,624	239,415	416	22	12,661
7	713,511	378,896	334,615	236,375	373	21	13,308
8	495,145	506,313	-11,168	196,120	347	21	11,869
9	475,841	305,329	170,512	210,495	369	22	12,550
10	725,358	428,985	296,373	215,385	383	23	12,934
11	629,877	479,230	150,647	221,815	366	22	13,333
12	500,040	372,134	127,906	205,160	363	23	12,999
1	414,180	366,303	47,877	189,000	332	21	11,955
2	449,049	481,640	-32,591	189,450	311	21	12,792
3	748,457	2,236,242	-1,487,785	355,855	354	23	23,121
計	6,444,877	6,439,302	5,575	2,697,805	4,370	262	13,479

*3月に喫茶部門のランチ経費を一括支払い
報酬改定に伴い、新算定式にて平均工賃を算出

(2) 生産活動別収入

(単位：円)

生産活動	目標	実績
受託部門 (プレス、シール貼り、箱作り等)	3,300,000	3,489,587
喫茶部門	1,440,000	2,138,920
自主生産部門	100,000	39,680
農園芸部門	300,000	549,700
パソコン部門	5,000	3,490
軽作業(出張農作業、他)	200,000	223,500
合計	5,345,000	6,444,877

4. その他

- 4月 花見(雨天の為イオン下田買物外出)
- 6月～8月 長坂公園 ボランティア清掃
- 7月 遠足 青森県立美術館(庵野秀明展)
- 9月 調理実習
- 12月 クリスマス茶話会
- 2月 農福マルシェ ラピア出店

Ⅱ－３．生活介護 事業報告

1. 支援実施状況

・運営について

今年度はコロナウイルス感染拡大による事業所の臨時休業はありませんでした。しかし、風邪やインフルエンザ、アデノウイルス等様々な感染症が流行しており、欠席する利用者様は多数おりました。対策については継続しており本人の罹患状況などについては、ご家族や各関係機関と情報共有を行っています。

9月からは定員が16名から14名と変更になりました。長期欠席、感染症による欠席、体調不良による欠席、利用日の変更、退所（1名）等があり、目標としていた稼働率90%には至りませんでした。

・支援について

コロナウイルスについては前年と比べて落ちついてきている状況だった為週1回の入浴サービスを週2回へと戻しサービスを提供してきました。また、状況の緩和に伴い、外出行事や調理実習、買い物訓練等を行う事ができました。季節行事（クリスマス会やひな祭り等）については規模や内容を縮小して行っています。5月からは看護職員も復帰し2名体制となった為、医療的な部分やその他の対応など以前と同様に行う事ができました。

日常の訓練については、個々の能力に合った課題を提供し、維持や向上に努めてきました。運動能力についても同様で、朝、昼の体操に加え、午後の余暇時間に個別にトレーニングを行う時間を設けました。月2回行っている運動プログラムは、歩ける方、車椅子利用の方それぞれ応じた内容で実施しています。参加される利用者様も意欲的に取り組まれていました。

軽作業としてシュレッダー作業やPCを使用し柿の木苑だよりの作成、表集計、表や、文書作成を行っていただきました。

・今後について

年齢や障害特性等により機能低下もみられる利用者様もいらっしゃる為、モニタリングの際に本人、ご家族から聞き取りを行い訓練や支援に関しての要望があればできる範囲で対応していきます。ご本人、ご家族との関係性を大切にし、意向に沿った支援、特性を理解し個々の能力に応じた支援、未来を見据えた支援、自立を目指し支援を提供していきます。

月2回の運動プログラム、週2回のマッサージ、感染症対策（適宜見直し）は継続して行っていきます。

2. 定員及び利用状況 定員 14名 登録者 18名
 (令和6年3月31日現在)

① 障害支援区分別登録者

区分	4	5	6	計
人数	1	9	8	18

② 障害種別

身体障害者手帳

1種		2種					計
1級	2級	1級	2級	3級	4級	5級	
10	2					1	13

療育（愛護）手帳

精神保健福祉手帳

A	B	計		1級	2級	3級	計
11	5	16					0

③ 年齢別利用状況(単位：人)

	10代	20代	30代	40代	50代	合計
男性		3		1	2	6
女性		6	4	2		12
合計		9	4	3	2	18

④ 入浴サービス利用者数（延べ人数）

月	男性	女性	合計
4	7	21	28
5	10	35	45
6	5	46	51
7	6	43	49
8	10	33	43
9	9	44	53
10	7	39	46
11	11	44	55
12	10	43	53
1	5	34	39
2	11	31	42
3	12	39	51
合計	103	452	555

2. 行事

日程	実施内容
4月21日	花見ドライブ
7月7日	調理実習（宝石ゼリー）
8月25日	スポーツレク
10月13日	買い物訓練
10月31日	ハロウィン
12月25日	クリスマス会
2月2日	スポーツレク
3月3日	ひなまつり

Ⅱ－6．放課後等デイサービス 事業報告

1. 支援実施状況

今年度は、小学一年生四名が新規利用となった事で、集団での活動や選択活動など賑やかに活動する事が出来ました。高等支援学校への進学によりうこねこ学園への入所となり、3月での退所となった方へは、新たなスタートへのサポートが出来たと思っております。

支援内容については、児童一人一人の能力に合わせて「自分でやる」と意識ができるよう必要な課題（学習課題や、生活全般に関わる能力の訓練等）の提供を行いました。

また、利用人数が増えた事で集団活動の際には、他児童との関り方、自分の気持ちの伝え方について楽しみながら学習し、気持ちの面でも成長できるよう取り組んでまいりました。

今年度は新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症予防に力を入れていましたが、残念ながら感染により利用キャンセルとなる方が多くいらっしゃいました。苑内での感染拡大とならないよう、フロアの清掃、消毒、換気の徹底、保護者への情報提供や注意喚起により力を入れ安心してご利用いただけるよう努めました。

2. 定員及び利用状況 定員 10名 登録者 14名

① 障害種別 (令和5年3月現在)

身体障害者手帳

一種 一級	一種 二級	二種 一級	二種 二級	二種 三級	二種 四級	合計
1						1名

療育手帳

A	B	計
1	5	6名

② 学年別利用状況 (令和5年3月現在) (単位：人)

学年	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
人数	4	0	2	1	2	0	1	0	3	1	0	0	14

Ⅲ. 令和5年度 相談支援センター柿の木苑 (特定相談支援事業) 事業報告

1. 運営について

令和5年度3月末現在で83名の契約者がいます。年度中に契約を終了された方が3名、新規契約の方が4名で、昨年度末より契約者数は、ほぼ変わりありませんが、職員は、委託の職員が高齢のため退職となり、4名の相談支援専門員（専従1名、兼務3名）の体制になりました。法律上はさらに契約者数を増やすことは可能ですが、他事業との兼務の職員も多く、契約者数を増やすと支援に支障がでてくることが予想されるため、新規の契約に関しては、当法人を利用されている方で、相談支援事業が新たに必要な方だけに絞って新規の契約を行ってきました。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症予防対策が緩和されたため、活動が行いやすくなった面もありますが、各方面の指針が一致しておらず、判断に悩むところもありました。例えば、行政ではコロナの流行に配慮して、モニタリング時の本人との面会を電話での聞き取り等で代行することを許可されていましたが、感染症の流行が下火になったことを機に、昨年5月にそれが廃止となりました。ところが医療機関の多くは感染症を警戒し、面会の禁止を秋頃まで続けていたところが多く、入院されている利用者のモニタリングに支障をきたす事がありました。

2. サービス利用支援（計画作成）数

① 障害種別

(単位：回)

月	身体	知的	精神	発達 障害	難病	障害児	計
4	3	6	1	0	0	2	12
5	2	3	1	1	0	0	7
6	0	1	1	0	0	1	3
7	1	1	1	0	0	1	4
8	1	0	0	0	0	1	2
9	2	3	1	0	0	1	7
10	1	4	0	0	0	1	6
11	0	2	0	0	0	0	2
12	1	1	0	0	0	1	3
1	1	0	0	1	0	0	2
2	1	1	1	0	0	0	3
3	0	2	1	0	0	1	4
計	13	24	7	2	0	9	55

② 市町村別

(単位：回)

	おいら せ町	十和田 市	南部町	階上町	福島市	むつ市	八戸市	障がい児 (八戸市)	計
4月	2	0	0	0	0	0	8	2	12
5月	0	0	0	0	0	0	7	0	7
6月	0	0	0	0	0	0	2	1	3
7月	0	0	0	0	0	0	3	1	4
8月	0	0	0	0	0	0	1	1	2
9月	1	0	0	0	0	0	5	1	7
10月	1	0	0	0	0	0	4	1	6
11月	0	0	0	0	0	0	2	0	2
12月	0	0	0	0	0	0	2	1	3
1月	0	0	0	0	0	0	2	0	2
2月	0	0	0	0	0	0	3	0	3
3月	0	0	0	0	0	0	3	1	4
計	4	0	0	0	0	0	42	9	55

3.継続サービス利用支援（モニタリング）数

① 障害種別

(単位：回)

	身体	知的	精神	発達	難病	障がい児	計
4月	6	5	3	1	0	1	16
5月	5	4	2	0	0	2	13
6月	11	4	2	1	0	1	19
7月	6	6	1	0	0	1	14
8月	4	8	3	0	0	2	17
9月	5	11	3	0	0	3	22
10月	5	6	4	1	0	0	16
11月	7	5	33	0	0	3	18
12月	9	3	2	1	0	1	16
1月	4	7	0	0	0	1	12
2月	6	7	3	0	0	2	18
3月	5	14	3	0	0	4	26
計	73	80	29	4	0	21	207

② 市町村別

(単位：回)

	おいら せ町	十和田 市	南部町	階上町	福島市	むつ市	八戸市	障がい児 (八戸市)	計
4月	0	0	0	1	0	1	13	1	16
5月	1	0	1	0	0	0	9	2	13
6月	0	1	0	0	0	0	17	1	19
7月	0	0	0	0	0	0	13	1	14
8月	1	0	0	0	0	0	14	2	17
9月	1	0	0	1	1	0	16	3	22
10月	0	0	0	1	0	1	14	0	16
11月	1	0	1	0	0	0	13	3	18
12月	0	1	0	0	0	0	14	1	16
1月	0	0	0	0	0	0	11	1	12
2月	2	0	0	0	0	0	14	2	18
3月	1	0	0	1	1	0	19	4	26
計	7	2	2	4	2	2	167	21	207

4. 年齢・男女別 利用者数

(単位：人)

年代	未就 学児	小学 生	中学 生	高校 生	10 代	20代	30代	40代	50代	61歳以 上	計
男性	1	2	3	1	1	8	5	7	11	6	45
女性	0	1	2	0	2	9	9	7	6	2	38
計	1	3	5	1	3	17	14	14	17	8	83

* 人数は令和6年3月末時点でのものです。

* 10代は高校卒業の方に加え、中学・高校に進学されていない方も含みます。

5. 職員研修

日程	研修名	研修内容	主催	参加者
7月19～20日 8月18日 9月8日	令和5年度談支 援従事者現任研 修	相談支援員の資 質の向上	青森県社会福祉 協議会	1名
9月21～22日 10月20日 11月22日	令和5年度相談 支援従事者初任 者研修	相談支援員の資 質の向上	青森県社会福祉 協議会	1名
10月12日	八戸市障がい者 相談支援事業者 連絡会議	相談支援員の情 報の提供・共有 及び資質の向上	八戸市障がい福 祉課	1名

6. 修了研修

- ・強度行動障害支援者養成研修 実践研修
- ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修
- ・地域生活支援事業による精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法等に関する研修

IV. 令和5年度 指定就労支援継続B型事業所

ワーク柿の木苑 事業報告

1. 運営について

- ①平均稼働率は43.6%となり、目標の60%には至りませんでした。
- ②新規登録者は2名、退所者が1名で、衣類販売の仕事をしたいと意志があったため退所されました。令和5年8月と令和6年1月に長期入院となった利用者様が2名いらっしゃいました。

2. 支援目標における反省及び成果

- ①職員の異動で対応し、不足人員については年度内に新採用職員がおりましたが、家庭の事情で同年度中に離職となりました。入れ替わりで職員を新たに採用し新チームで業務を遂行しています。
- ②新規登録者が2名でしたが、コロナ感染症や家事・手伝い等で数名の利用者の利用日数が減少し長期入院の利用者様も発生したため稼働率が減少しました。
- ③ハラスメントに関する研修を実施し職員への意識付けを行い、職員・利用者様が安心して業務や活動を行えるよう取り組み、事例が発生することなく年度を終えました。
- ④防災備品（非常用飲料水・非常食・防火用品）の在庫や使用期限を一覧化し、新たにBCP（防災）策定を行いました。防災について定期的に訓練を行い、有事を想定した動きを確認しました。
- ⑤年間を通して2階作業室照明のLED化や屋根の雪止め工事、2階作業室ストローブの老朽化による付け替え等の整備を行いました。ハイエースが納車したばかりにもかかわらず整備を怠っていたための修理やタイヤの買い替えが発生し、車両管理については来年度の課題となっています。

3. 苦情相談・解決

福祉オンブズマン面談 月1回 計12回実施

面接実施日：4/20、5/16、6/15、7/13、8/23、9/13、10/19、11/16、12/25、
1/18、2/16、3/27

面接人数 60名

- ・職員不足による不満（もっと相談したい）や、利用者間での不満や要求が聞かれておりました。真摯に向き合い改善します。
- ・自身や家族の老後についてやご家族に対するストレス、施設の利用者様への不満等が聞かれオンブズマン担当者が傾聴しました。

4. 職員体制 (令和6年3月31日現在)

①人員配置

施設長 1名 (兼務)
生活支援員 1名
サービス管理責任者 1名
職業指導員 1名
目標達成支援員 1名

②人事異動

入職 職業指導員 (正職員) 1名
退職 職業指導員 (正職員) 1名

5. 勤務体制

勤務：月曜日～土曜日 8：30～17：30
休日：日・祝祭日

6. 職員研修

日程	研修名	研修内容	主催	会場	参加者
8/26 9/16 11/18	自閉症支援セミナー	基礎コース	青森県自閉症支援研究会	Zoom	1名
2/10	令和5年度サービス実践研修	実践研修	青森県社会福祉協議会	アラスカ	1名

7. 定員及び利用状況

定員 20名
登録者数 13名 (令和6年3月31日現在)

(1) 年齢別

年齢	男	女	合計
～19	1	0	1
20～29	3	0	3
30～39	0	0	0
40～49	3	1	4
50～59	1	2	3
60～	2	0	2
合計	10	3	13

(2) 居住地別

居住地	八戸市	おいらせ町	三戸町	階上町	計
人数	12	0	1	0	13

(3) 手帳別

障害手帳	精神 1 級	精神 2 級	愛護手帳 A 判定	愛護手帳 B 判定	身体 4 級
人数	3	6	0	4	1

(4) 経済状況

経済状況	男	女	合計
年金受給	9	3	12
生活保護受給	0	0	0
家族の援助	1	0	1
合計	10	3	13

(5) 令和 5 度稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年集計
営業日数	21	22	22	22	22	22	23	22	23	22	21	23	265
登録者数	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13
延べ利用者数	209	197	189	200	173	184	205	194	202	188	172	197	2,310
延べ定員	420	440	440	440	440	440	460	440	460	420	420	460	5,280
稼働率%	49.8	44.8	43.0	45.5	39.3	41.8	44.6	44.1	43.9	42.7	41.0	42.8	43.6

(6) 入・退所者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
退所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(7) 退所理由

退所理由	人数
他業種（衣類販売）での作業を希望されたため	1

(8) 見学、利用体験・実習受入状況

見学 6/28、8/3、9/14、10/5、1/26、1/29、2/26、2/29 12名

利用体験・実習 高2 1名 50代女性 1名

7. 部門別実績

7-1 生産活動実績

(1) 生産活動内容

リサイクル事業 リサイクル品の回収

古本事業 古本の販売

受託作業事業 内職作業(箸作業、菓子詰め作業、封筒の案内状入れ、シール貼り)

軽作業事業 除草・除雪・催事販売・環境美化・片付け作業(家屋・倉庫)

(2) 催事出店

八戸商業高校バザー 10/14、15

はちまる てとて 販売会 2/21

(3) 売上金額

(単位：円)

月	売上	経費	粗利益	支払工賃	支払人数	平均工賃	収支残高
4	135,251	17,400	117,851	129,773	11	13,039	-11,922
5	186,592	24,568	162,024	127,257	11	14,211	34,767
6	185,883	38,822	147,061	116,631	10	13,576	30,430
7	164,267	15,385	148,882	115,952	11	12,745	32,930
8	163,774	40,949	122,825	108,144	11	13,752	14,681
9	159,311	33,721	125,590	108,122	11	12,927	17,468
10	172,295	22,861	149,434	108,815	11	12,268	40,619
11	89,712	35,737	53,975	112,717	11	12,524	-58,742
12	150,113	18,599	131,514	117,216	11	13,346	14,298
1	104,488	50,227	54,261	98,993	10	11,584	-44,732
2	119,404	28,801	90,603	97,268	10	11,875	-6,665
3	138,489	36,132	102,357	118,709	11	13,859	-16,352
3月+年度末調整金となっております。							
計	1,769,579	363,202	1,406,377	1,359,597	129	12,993	46,780

(4) 生産活動別売上金額 (単位：円)

事業名	目標	実績
リサイクル事業	1,500,000	1,041,108
古本事業	350,000	331,684
受託作業事業	250,000	394,237
軽作業	0	2,550
計	2,100,000	1,769,579

(5) 工賃 1人当たり 平均月額工賃 12,993円
平均時給 152円

7-2. 生活支援行事実績

○健康管理

血圧測定 週1回
体重測定 月1回
朝会での体操
健康維持学習会 11/24
歯科検診 (コロナ感染対策の為、未実施)
職員健康診断(健診センター) 10月
利用者様健康診断 5/8、10/11
インフルエンザ予防接種 11/7
胸部X線撮影 5/8

※利用者様の心身の状態を常に把握し、必要に応じて相談を行いました。

○室内行事

クリスマス茶話会 12/25
節分茶話会 2/2
ひなまつり 3/1

○外出行事

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、感染対策をしながら飲食や買い物を伴う外出行事を実施致しました。
花見 4/19
海散策ドライブ 7/7
紅葉ドライブ 11/2

○運動プログラム (外部委託インストラクターによる)

5/17、9/6、1/31

8. 地域交流

ボランティア町内清掃 5/12、10/20

9. 会議等

- ・部門長会議 毎月1回 計12回
- ・職員会議 毎月1回 計11回 (1月職員会議は職員のコロナ罹患の為に中止)
- ・生産活動運営会議 毎月1回 計12回
- ・ケース会議 毎月1回 計12回
- ・工賃算定会議 毎月1回 計12回
- ・給食会議 3/25

10. 安全管理・衛生管理

① 安全管理

- 総合防災訓練(火災) 6/29
- 避難訓練実施(地震) 11/22
- 消防設備点検 2回 6/17、12/20 (三栄防火機材)
- 消防自主点検 3回 4/11、7/11、11/8

② 衛生管理

- 施設内大掃除 8月、12月
- 衛生知識の普及指導として毎日手洗い、うがい、歯磨き実施
- 生ゴミ処理、外回りのゴミ拾い等を実施
- 利用時間終了後の施設内消毒を毎日実施

11. 備品等購入及び建物改修

○ 建物改修・構築物等

- ・ガス設備検査 4年1回 前は令和4年に検査
- ・2階作業室LED照明器具交換工事について 4月
- ・屋根雪止め工事 5月
- ・1階床洗浄・ワックス掛け 8月
- ・マルチベーカー廃棄 9月
- ・2階作業室ストーブ代替品の購入 11月
- ・夏タイヤ購入 1月

12. 関係機関との連携

コロナ感染症が第5類になり、外部の福祉施設や支援学校等の実習の受け入れ、リモートではなく利用者様ご本人や取り巻くご家族・関係機関と会議や情報提供を行うなど他事業所やグループホーム等との連絡を密に行い、サービスの提供に努めました。リサイクル回収やボランティア活動等では地域の

方や町内会・市内企業様への情報発信を行いワーク柿の木苑の事業内容へのご理解にご協力いただきリサイクル回収の参画へとつなげるなどの交流や関係性を深めることが出来ました。

V. 令和5年度 地域生活支援センター柿の木苑

(介護サービス包括型指定共同生活援助) 事業報告

1. 運営について

- ① 10月に1名、12月に1名新たに入居する。
- ② 9月に退居者が1名
- ③ 5月にコロナ感染症が5類に移行したが、感染症対策（手洗い、うがい、消毒、マスク）は継続している。
- ④ 合同誕生会を再開した。他にも毎月1回の寿司パーティーを開催し、好評を得ている。
- ⑤ 食費の適正化を図り、令和6年1月より朝食を400円から250円に値下げを行った。

2. 年度重点目標における反省及び成果

- ① 人材の定着
夜勤対応の職員が入職し、介護全般の支援に厚みが増した。今後は個別の支援を強化して、区分に応じた支援ができるよう、研鑽していく。
- ② 入居者様が安心して暮らせるようにする。
特定の利用者間のトラブルが多く見られ、苦情をいただくケースがあったが、その利用者は入院治療が必要という事で3か月以上に及ぶことから退居となった。その後は利用者間でのトラブルはなくなった。
食事はおいしいと好評である。今後も安全面に気を付け、衛生を保って提供していく。
- ③ ほぞの3号館開設準備
コロナ禍のため、中断している。
- ④ BCP（事業継続計画）の策定と訓練の実施
新型コロナウイルス感染症発生時にBCP（感染症）の実地検証を行い、改善した。
BCP（災害）は令和5年12月に作成完了。法人研修で職員への周知を行った。年1回備蓄品の点検を行った。
- ⑤ 自己評価票の改善点の向上
・サービス提供について

申し送りの徹底、職員会議やケース会議で都度支援方法について話し合い、支援の統一を図った。

・家族との連携

ご家族とは、外泊の送迎時や訪問時などお会いできる機会でのコミュニケーションを大切にしている。申し送りノートも実施。

・関係諸機関との連携

日中活動の事業所との連絡調整を行い、利用者様の状態把握に努めた。

・夜間支援体制の充実

1号館に夜勤職員を1名配置

2回以上見回りを行う。ナースコールや内線電話で都度職員と連絡がとれる体制になっている。

女性職員による夜勤がスタートした。(週2回)

3. 職員体制 (令和6年3月31日現在)

管理者 1名 (兼務)

サービス管理責任者 1名

生活支援員 4名 (常勤4名)

世話人 3名 (常勤1名、非常勤2名)

4. 人事異動

入職 令和5年8月1日付 生活支援員 1名

異動 令和6年3月1日付 新任管理者 (兼務)

昇進 令和6年3月1日付 新任サービス管理責任者

5. 勤務体制

・正職員

夜勤 15:00～翌9:00 (休憩2時間)

日勤 9:00～18:00 (休憩1時間)

早番 6:00～15:00 (休憩1時間)

遅番 12:00～21:00 (休憩1時間)

・準職員は契約による。

6. 定員及び利用状況

定員 14名

入居者 13名 (令和6年3月31日現在)

(1) 年齢別

年齢	男	女	合計
～19	0	0	0
20～29	2	1	2
30～39	1	0	1
40～49	0	1	2
50～59	4	3	5
60～	0	1	2
合計	7	6	13
平均年齢	43.4	48.5	45.8

(2) 居住地別（支給決定先）

居住地	八戸市	三戸町	階上町	五戸町	合計
人数	11	0	1	1	13

(3) 手帳種別（重複あり）

障害手帳	精神1級	愛護A	愛護B	身体1級	身体2級
人数	1	4	7	3	1

(4) 障害支援区分

区分	6	5	4	3	2
人数	1	4	5	2	1

※平均4.4 令和5年8月 1名 区分5→4に変更

(5) 経済状況

経済状況	男	女	合計
年金受給	8	5	13
生活保護受給	0	0	0
合計	8	5	13

(6) 令和5年度 稼働率

一時期3部屋空きがあった。

1～3か月の入院が2名あり、全体的に稼働率が低かった。

○ 1号館

定員7名 満床 目標稼働率95% 実績81.3%

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年集計
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
登録者数	区分6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	区分5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	区分4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	区分2										1	1	1	1
延べ利用者数	区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
	区分5	55	54	56	54	52	54	57	55	53	54	52	59	655
	区分4	60	58	60	61	57	57	60	59	59	55	50	61	697
	区分3	29	28	30	30	28	29	30	30	29	0	0	0	263
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	24	27	25	26	102
	合計	174	171	176	176	168	170	178	174	196	167	156	177	2083
延べ定員		210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	203	217	2562
稼働率 %		82.9	78.8	83.8	81.1	77.4	81.0	82.0	82.9	90.3	77.0	76.8	81.6	81.3
1日平均人数		5.69人												

○ 2号館

定員7名 6名入居 目標稼働率80% 実績63.5%

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年集計
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
登録者数	区分5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	区分4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
	区分3							1	1	1	1	1	1	1
延べ利用者数	区分5	38	32	41	38	40	39	41	41	42	41	41	36	470
	区分4	107	104	110	111	93	80	83	79	68	79	77	82	1073
	区分3	0	0	0	0	0	0	5	15	16	16	12	21	85
	合計	145	136	151	149	133	119	129	135	126	136	130	139	1628
延べ定員		210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	203	217	2562
稼働率 %		69.0	62.7	71.9	68.7	61.3	56.7	59.4	64.3	58.1	62.7	64.0	64.1	63.5
1日平均人数		4.45人												

(7) 入・退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
退居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(8) 体験受入状況及び見学

問い合わせ 6件

体験利用 4件

7. 生活支援実績

○健康管理

血圧測定 毎日実施 12名。他の方は不調時実施。

体重測定 月初1回

検温 毎日朝夕全員

定期通院 毎月6名

服薬管理 11名

○室内行事

4月27日 合同誕生会

9月26日 合同誕生会

12月25日 クリスマス会

1月1日 おせち提供

毎月 行事食を実施（寿司パーティ、バレンタインデーなど）

○外出行事

感染症対策のため実施せず

8. 福祉サービスの評価と改善

①第三者委員面談

毎月1回

4月13日、5月11日、6月8日、7月6日、8月3日、9月14日

10月12日、11月9日、12月7日、1月11日、2月8日、

3月14日

②面談結果報告

面接人員 13名

面接者：ハネット福祉オンブズマン 1名

質問項目	利用者様の声 (延べ人数)
ホームに対する不満はありますか？	楽しいの声多数。144名
ホームに対する要望はありますか？	あり 1名 なし 143名 トイレ介助時にもう少し力の強い人がいい。
職員や支援者に対する不満や要望はありますか？	なし 144名 買い物を頼んだらとても気に入った。ベッドの高さを調整してくれた。いつも助けてくれて相談に乗ってくれるなどの喜びの声多い。
ホームや利用している人たちに対して何かありませんか	あり5名 なし139名 何もしていないのに嫌がられた。他の人の部屋に勝手に入った。おせっかいな人がいる。言いつけられた。階段を下りてきた人にぶつかりそうになった。
今後も利用を続けますか	はい 144名
食事について	満足 144名
その他	・将来の不安 ・健康の不安 (本人・ご家族) ・家族関係について

③ オンブズマンからの所感

- 自分の健康について
 - ・入院通院 (内科、眼科、歯科、整形など)
- 家族の健康について
 - ・入院や施設入所
 - ・病気や怪我など

以上に伴う自分の将来についての不安が見られるが、ほとんどの会話は明るく楽しげである。例えば、

- 家族との時間について
 - ・家族と共にイベント、買い物、行事、旅行、美術館、博物館にいった。
 - 実家での話
 - ・リフォームした。TVが壊れて新しくした
 - 本人の日常について
 - ・カラオケ、買い物、お祭り、季節の行事など
 - ・通っている施設で頑張っている事やうれしい事 など
- 全体的に毎日を快適に楽しく過ごしている様子が伝わってくる会話である。

9. 研修実施状況

日程	研修	主催	参加者
6月3日	GH連絡協議会総会	東地区グループホーム連絡協議会	主任生活支援員1名
8月21日	世話人勉強会	東地区グループホーム連絡協議会	生活支援員1名
11月25日	サービス管理責任者等基礎研修	青森県社協	主任生活支援員1名
2月10、11日	サービス管理責任者実践研修	青森県社協	生活支援員1名

10. 地域交流

6月3日 穂園町内会定時総会参加

11月12日 530運動参加

町内運動会は感染症対策のため、不参加

11. 会議等

- ・部門長会議 毎月1回 12回
- ・職員会議 4回
- ・ケア連絡会 毎月1回 12回
- ・個別支援計画の見直し（作成） 作成1回
モニタリング半年ごと

12. 安全管理・衛生管理

① BCP（感染症） 振返りを実施。

BCP（水害・地震） 完成

② 安全管理

- ・総合防災訓練 2回 5月18日、9月20日(夜間火災想定)
- ・避難訓練 4回 6月17日(地震想定)
11月19日(夜間地震想定)
1月23日(火災想定)
2月8日(地震想定)
- ・洪水対策訓練 1回 10月16日(図上訓練)
- ・消防設備点検 2回 6月12日、12月15日
- ・エレベーター点検 2回 1号館 8月4日、2月5日、
2号館 9月29日、3月19日

- ・エレベーター法定点検（市報告用） 2月5日
- ・自動ドア点検 2号館のみ 年2回 4月10日、10月23日

③ 衛生管理

- ・毎朝夕の手すり、椅子、ドアノブ等の除菌
- ・毎日手洗い、うがい、歯磨き実施
- ・生ゴミ処理、外回りのゴミ拾い等を実施
- ・1・2号館グリーストラップ清掃 9月25日、2月28日

1.3. 健康管理

- ・職員健康診断（健診センター） 年2回実施

1.4. 備品等購入及び建物改修

○建物改修・構築物等

（1号館）

- 車いす2台タイヤ交換 9月26日
- 給湯器交換 10月5日
- 202号室鍵交換 10月20日
- リビング天井設置型空気清浄機 修理 2月3日
- 防犯カメラ1基交換、玄関前増設 2月3日

（2号館）

- 1階トイレ引き戸部品交換 2月2日
- エレベーターバッテリー交換 9月29日
- セコムバッテリー交換 12月25日

○ 備品購入

- ノートパソコン1台購入(Windows11) 1月26日
- 業務用掃除機 2台購入 2月3日

VI. 令和5年度 委員会事業報告

VI-1. 事故防止委員会活動報告

①年間スケジュール

	活動	内容
4月	月別目標	接触・転倒が無いように見守り声掛けをしましょう
5月	月別目標	送迎メンバー・忘れ物・車椅子固定の確認をしましょう
6月	計画会議	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー顔合わせ ・年間活動計画等の話し合い ・前年度の反省を踏まえて課題についての話し合い
	月別目標	薬の提供ミスには気をつけよう
7月	月別目標	報告・連絡ミス・職員不足による事故防止
8月	月別目標	利用者様私物・施設備品の破損に気をつけましょう
9月	月別目標	送迎メンバー・忘れ物・車椅子固定の確認をしましょう
10月	月別目標	接触・転倒が無いように見守り声掛けをしましょう
11月	定例会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告・検証 ・事故報告・検証 ・今後の課題についての話し合い
	月別目標	薬の提供ミスには気をつけよう
12月	月別目標	報告・連絡ミス・職員不足による事故防止
1月	月別目標	接触・転倒が無いように見守り声掛けをしましょう
2月	定例会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット、報告・検証 ・事故報告・検証 ・1年間の事例分析 ・法人研修の内容検討 ・今後の課題についての話し合い
	月別目標	薬の提供ミスには気をつけよう
3月	年度末報告	・内部研修にて事例(ヒヤリハット)及び改善策の発表
	月別目標	利用者様私物・施設備品の破損に気をつけましょう

② 反省

- ・ヒヤリハット件数が全体を通して少なかった。→事故件数が前年度に比べ多かった。事故を防ぐためにもヒヤリハットの記入をしてもらうようにしていく。
- ・職員の日程などが合わず、計画通りの定例会議を行う事が出来なかった。
- ・事故件数は法人通して物損1件・食中毒関連1件・利用者事故(怪我)2件・車両事故5件 計9件。

③ 月別ヒヤリハット発生件数 (柿の木苑)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2件	2件	3件	2件	2件	4件	3件	2件	1件	5件	9件	3件	38件

発生場所	種別	重複回答あり
○1階	見守り不十分	15件
○屋外(敷地内)	声かけ不十分	16件
食堂 9件	確認不足	16件
プレハブ、タイヤ小屋 3件	認識不足	4件
トイレ 2件	注意不足	25件
根城カフェ・厨房 4件	連絡不足	3件
更衣室 1件	環境整備不足	4件
駐車場・玄関 4件	本人の危機察知能力不足	22件
洗濯室 2件		
車内(事務用務含む) 2件		
浴室・脱衣室 1件		
○その他		
廊下 1件		
送迎ミス(忘れ・連絡不足等) 2件		
○2階		
外出先 1件		
多目的室 5件		
作業フロア 2件		
階段 2件		
EV・EVホール 2件		

④ 月別ヒヤリハット発生件数 (ワーク柿の木苑)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1件	1件	2件	0件	2件	3件	6件	4件	2件	1件	0件	2件	24件

発生場所	種別	重複回答あり
玄関 5件	見守り不十分	6件
食堂 5件	声かけ不十分	7件
作業室 5件	確認不足	10件
駐車場 3件	認識不足	5件
車内 3件	注意不足	8件
外出先 1件	連絡不足	3件
洗濯室 1件	環境整備不足	9件
	本人の危機察知能力不足	8件

⑤ 月別ヒヤリハット発生件数（ほぞの1号館・2号館）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5件	0件	0件	3件	5件	9件	5件	4件	2件	2件	5件	7件	47件

発生場所	
玄関	3件
食堂	5件
トイレ	1件
居室	5件
リビング	9件
洗濯室	2件
浴室・脱衣室	2件
世話人室	2件
廊下	1件
外出先	2件
屋外(他施設)	1件

種別 重複回答あり	
見守り不十分	7件
声かけ不十分	7件
確認不足	9件
認識不足	13件
注意不足	5件
連絡不足	3件
環境整備不足	4件
本人の危機察知能力不足	12件

VI-2. 感染症予防委員会 活動報告

① 年間スケジュール

	実施項目	内容
4月		
5月	胸部X線撮影 5/8	レントゲン撮影 42名
6月	食中毒対策	食中毒予防のお知らせ配布
7月	健康診断 7/11	種市外科に依頼し、実施 43名
8月	熱中症対策	お知らせ配布
9月	歯科検診	柏崎歯科へ依頼し実施 43名 結果の配布
10月	感染症予防についての研修	研修に参加、内部研修の実施
11月	インフルエンザ予防接種 11/7 ノロウイルス対策	予防接種のお知らせ配布・実施 38名 ノロウイルス対策セットの確認
12月	健康診断 12/10	種市外科に依頼、実施 43名
1月	定例会議	各施設・部署の感染症状況の確認 来年度へ向けての活動内容検討
2月		
3月	コロナウイルス・インフルエンザウイルス集計	法人内の感染者の集計

<反省>

- ・各部署、感染者は出ていたが、拡大していなかったのが良かった。
- ・消毒の徹底が出来ていた。
- ・例年より暑い日が続いたが、利用者・職員に熱中症がなく、良かった。水分補給の声掛けできていた。GHでは夜間もエアコンを使用していた。
- ・ワークで手洗いチェックの機械を保健所より借りて、手洗いの見直しが出来た。
- ・GHでは、感染症対策を職員間で話し合い進めた。利用者へ変更点を周知するのは難しい点もあったが、できるようになった。

VI-3. 虐待防止・身体拘束廃止検討委員会活動報告

① 年間スケジュール

月	活動	内容
6	定例会議① 法人研修①	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー顔合わせ ・年間活動計画等の周知・確認 ・相談・通報・届出受付票の保管場所の確認 ・障害者虐待防止マニュアルの周知 ・6月20日『虐待防止及び身体拘束の適正化について』法人研修実施。 →Web動画講習。 ・今後の予定の確認 →『緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書』のリストアップをし検討する。 →職員対象のチェックリスト内容の確認。
11	定例会議②	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での虐待発生状況確認。 ・『緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書』に同意を得ている利用者様、新たに同意を得る必要が検討される利用者様についてのカンファレンス実施。 →カンファレンス内容は、記録用紙に記入。
12		<ul style="list-style-type: none"> ・職員チェックリスト記入・集計
2	定例会議③ 法人研修②	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での虐待発生状況確認。 ・『緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書』に同意を得ている利用者様についてのカンファレンス実施。 →カンファレンス内容は、記録用紙に記入。 ・2月26日『障がい者虐待防止の為の指針について』法人研修実施。 →内容について全職員への周知。本年度の虐待発生状況の報告。職員チェックリストの集計報告。

② 反省

- ・法人研修では、6月に『虐待防止及び身体拘束の適正化について』と2月に『障がい者虐待防止のための指針について』の内容で行なっている。昨年度

は10月と2月と年度の後半に集中して研修を行っていたが、今年度は前半、後半に行った為、1年間を通して虐待防止、身体拘束の適正化について全職員への意識付け、周知できたと思う。また、Web動画を活用した研修を事が出来た。

- 定例会議について、今年度は3回と定期的に行う事が出来、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」を頂いている利用者様についてのカンファレンスも一人一人密に行う事が出来た。

VI-4. 研修委員会活動報告

① 年間スケジュール

法人内部研修実施一覧

月	内容	講師
4月25日	法人理念について	豊山信子(理事長)
5月26日	ハラスメント研修	石橋一恭社労士
6月20日	Web 講義 虐待防止及び身体拘束の適正化について	虐待防止・身体拘束廃止検討委員会
7月24日	安全運転について	伊藤俊(安全運転管理者)
9月28日	伝達研修 就業支援基礎研修 障害者就労サポーター養成講座	大下武彦 蛭沢朱子
11月10日	感染症予防研修	感染症予防委員会
12月22日	BCP（業務継続計画）について	防災委員会
1月26日	知的障害について 発達障害について	研修委員会（小村・在家）
2月22日	障がい者虐待防止のための指針について	虐待防止委員会
3月24日	事故及びヒヤリハット報告について	事故防止委員会

② 実習受入状況

今年度の実習生受入れは感染症拡大防止のため無し

③ 反省

- ・前年度と比較し外部研修・法人内部研修ともに充実した実施内容であった。
- ・実習生等の受け入れは感染症予防の観点から実施できなかった。
- ・有料の Web 動画による研修を活用できた。

VI-5. 地域交流委員会活動報告

① 年間スケジュール

月	行事	内容
5	歩道 環境整備	博物館前交差点～駐車場北側出口
6	長坂公園 環境整備	長坂公園草刈り、石拾い、ゴミ拾い等
7	長坂公園 環境整備	長坂公園草刈り、石拾い、ゴミ拾い等
8	長坂公園 環境整備	長坂公園草刈り、石拾い、ゴミ拾い等
1 1	穂園町530運動	穂園町内のゴミ回収
1 2	ゴミ拾い	柿の木苑周辺、根城6丁目 及び8丁目の住宅街
2	除雪作業	喫茶脇交差点、バス停周辺、横断歩道

その他

- ・年間を通して、地域独居高齢者宅へのゴミ回収事業
(毎週水曜日、100円/回、支払いは月単位)

② 反省

- ・今年度は地域の依頼を受け、歩道の植木の除草整備作業に取り組んでいます。また、ゴミゼロ運動や住宅街のゴミ拾いを行うなど、地域の環境美化に協力する活動を実施できました。今後も地域の要望や環境美化に繋がる活動等を通して、地域交流や地域貢献に努めてまいります。
- ・ゴミ拾いの際、ゴミを拾うために住宅の敷地内に侵入してしまう場面があったため、事前に注意喚起をする必要がありました。
- ・暖冬の影響で除雪作業の回数は大幅に減りましたが、安心安全を提供できたと思います。今後も、状況に応じて通学路やバス停周辺の除雪に取り組み、歩行者の安全確保に努めてまいります。
- ・各作業中はケガや事故、トラブルも無く、安全に配慮しながら遂行できました。

VI-6. 広報委員会活動報告

① 年間スケジュール

	行事	内容
4	行事計画策定 ブログ更新	
5	ブログ更新	
6	ブログ更新	
7	ブログ更新	
8	ブログ更新 HP 更新	
9	ブログ更新	
10	ブログ更新	情報公開ページ更新
11	『根の城』広告掲載 ブログ更新	
12	ブログ更新	
1	ブログ更新	
2	ブログ更新	
3	HP 更新 会報発行 次年度活動計画策定	内容修正、情報公開ページ更新 パーシモン通信 20 号

② 反省

- ・会報の発行が年度末ギリギリになってしまった。
時間はかかったが、記事内容を充実することができ、特に表紙の写真（撮影：生活支援員、モデル：放課後等デイサービス児童）が評判良かった。

VI-7. 防災委員会活動報告

① 年間スケジュール

月	行事	内容
5	八戸地域防災協会総会	不参加
5	備蓄品の検討	水、非常食の購入 グループホーム：食料についての備蓄の リストアップを行う。
12	防災委員会①	BCP(災害)の進捗報告(12月完成) 法人研修の打ち合わせ
12	BCP(事業継続計画)研修	法人研修にてBCP(災害)をオンライン 研修で実施。 BCP(感染症)の説明。
2	防災委員会②	活動計画打ち合わせ

② 振り返り

- ・BCP(自然災害、感染症)は完成した。
- ・12月にBCPについての説明を法人研修で行うが、初めて知ったという方もいて今後も理解を深めていくよう研修を継続する。

③次年度課題

- ・防災マニュアルの周知と見直しを引き続き行う。
特に参集範囲と人員配置
- ・非常用の物品の管理・保管実施
消費期限等の確認
- ・BCP(自然災害)の見直し。

令和5年度

事業報告の附属明細書

社会福祉法人ぶさん会

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。